

[illegible]

テクニカル・ライティング **Technical Writing** ガイダンス

教科書として『ESPにもとづく工業技術英語 大学・高専生のための新しい英語トレーニング』を用いる。ESP (English for Specific Purposes)とは、様々な場面で、ふさわしい表現や言い回しを研究する分野で、それに基づいて工業技術英語をトレーニングする予定である。同時に、参考書の*The Elements of Technical Writing (3rd edition)*から重要な箇所を読んで、理工学系の学生や研究者が論文やレポートなどの文書を作成するために規範となる内容を学んでいく。

毎回の授業では、教科書の練習問題を解くとともに、担当者を決めて、英文の配布資料を読み進める。担当者は、自分の割り当てられた範囲について、要点を教員および他の学生に説明すること。各セッションでの演習を通して計3回のレポートを提出する。授業と演習を通して修得したテクニカル・ライティングの技術を活用して、各自の研究テーマに基づいた英語論文を作成する。

事前学習として、(1)授業ごとに各ユニットを予習しておくこと、(2)発表予定の学生は、担当箇所について日本語で要約をまとめて、プレゼンテーションの準備をする。その他の学生も、発表者に質問できるように、あらかじめ内容を整理しておく。さらに、作文の課題が与えられるので、個人またはグループ毎にレポートを作成する。最終目標として、各自の研究に関する英語論文 (A4で約3ページ) を提出する。